

## 10月7日のウクライナ情報

安齋育郎

このところのウクライナでの戦況は、日本のテレビニュースでも、「ウクライナ軍がどんどん進軍して、奪還に次ぐ奪還。ロシア軍は占領地を放棄に次ぐ放棄。すでにウクライナ側は数十の村を奪還した」という感じです。この前も書きましたように、もとよりこの「ウクライナ情報」の発信は、ロシア軍応援団会報ではありません。10年以上にわたってこの戦争の原因を作ってきたアメリカ政府と、親米傀儡政権のもとでドンバスのロシア語話者への民族浄化的暴虐に走ったウクライナ政府の責任をきちんと見すえることです。そして、西欧社会が発し続けているフェイク・ニュースをしっかりと見破ることです。一方、この戦争の原因を取り除くためには「ウクライナの非 NATO 化」、「極右民族主義者たちによる民族浄化的暴力の停止」が不可欠です。それが果たされなければ、戦争は終わらないでしょう。ということは、原因を作ったアメリカやウクライナがこの戦争に勝利して、NATO 拡大やドンバスのロシア語話者虐待を続けたのでは、この問題は解決しないことも事実でしょう。

現在の戦況に関するある専門家筋の見立てでは、「攻撃場所に多数の兵士が長時間留まると、場所を特定されて反撃に遭うので、攻撃したら“ヒット・アンド・ラン”ですぐ逃げる。ウクライナ側は多数のドローンかアメリカの衛星から得た座標に基づいて攻撃をしかけるのだが、それでも逃げられると対応が遅れる。ロシア軍はヒット・エンド・ランでウクライナ軍に対応して時には占領地を放棄し、ウクライナ軍は占領地を一時的に増やして進軍している一方で戦力を失いつつある」というのです。前にお送りした映像でも、ロシア軍部隊の極めて迅速な「ヒット・アンド・ラン」の映像がありました。ウクライナ側に砲撃を加えた後、全速力で移動する映像です。そこにウクライナ軍から攻撃があった頃には「もぬけの殻」という戦法です。ロシアが占領地を明け渡していることにチェチェンのカディロフ首長が苛立っているとかいう噂も伝えられますが、戦況の客観的な分析や評価についての情報はそのうちにロシア国防省からも出るでしょうし、専門家筋に任せましょう。しかし、とにかくこの戦闘は早く終わらせたいものですね。それには原因に遡ってしっかり考えることが大切でしょうし、戦局の評価を早とちりして「ウクライナの全面勝利」だと思い込んでウクライナとその応援団諸国の戦争政策を支持し続けるのはとても危険だと思います。

今日、この「ウクライナ情報」の読者から、お知り合いで最近のウクライナ軍の進撃ぶりを見て、「安齋さんの情報は信じない」と言ってきた方が現にいたそうです。私の主張は戦局に左右されるものではありませんので、なぜこのような戦争が起こったのか、歴史と目の前の現実をしっかりと見据えて欲しいというのが願いです。私が西欧の情報のフェイクぶりなどをコテンコテンに批判しているせいか、戦局で西欧側(ウクライナ側)が優勢と報じられると「ホラ、やっぱり安齋さんの言ってることはウソ」と感じる人がいらっしゃるようです(笑)。それは科学とは無縁の立場ですね。あまり深く考えずに、「悪魔のプーチン、英雄ゼレンスキー、ウクライナ頑張れ！」と声高に叫んできた立場からは、この戦争では何が何でも「ウクライナが勝って、ロシアが負けて」もらいたいのでしょね。

プーチン政権が 4 地域の住民投票でロシア連邦への加盟を承認した結果、ロシアは「ゲームのルールを変えただけでなく、ゲームそのものを変えてしまった」と言われます。住民投票で国の独立や連邦

への帰属を決められるかという問題については、学説的にもいろいろな論議があって簡単な問題ではありませんが、とにかくプーチン大統領の側は、「どこの国に所属するかは個々人が決めるものだ。4州の住民達がロシア人になりたい人と言っているのに外国がそれを止める権利はない」と言い、「4州はもはやウクライナではない」と言っています。前にもお伝えしたように、今後は、ウクライナ軍がウクライナ領内で「特別軍事作戦」を展開中のロシア軍と戦うのではなく、ウクライナによる攻撃は、ロシア連邦政府によって「ロシア連邦への攻撃」と見なされるので、私が上で「ウクライナはそんなに突っ込んで大丈夫か」と書いたのもそのことへの懸念です。NATO もうっかりウクライナを加盟させると、資金提供や武器供与や傭兵への便宜ぐらいじゃ済まなくなり、同盟国が闘っている戦争に NATO が軍を派遣しない訳にはいかなくなります。戦争が「ウクライナ対ロシア」から、今以上に明確に「NATO 対ロシア」に変わり、ウクライナを戦場とする戦闘だけでは済まなくなって、少なくともヨーロッパ戦争になりかねません。核兵器使用の可能性の問題を含めて時々びっくりするようなことを発信するロシアのメドベージェフ元大統領は、「ウクライナの NATO 加盟申請は第3次世界大戦の幕開けを加速する」とまで言いました。そんな事態になれば NATO 諸国でも非常に大きな、場合によっては「政府転覆的」な国民的反対運動が起こるでしょうし、すでに EU はウクライナで戦争が起こっても参加しないと断言していますから、NATO も大きなジレンマに直面しているに相違ありません。そして、何よりも、ウクライナの国民の命や財産の被害がとてつもなく大きなものに拡大するでしょう。

## ●ロシア、4 地域編入の国内手続きを終了(2022年10月5日)

ロシアのプーチン大統領は、ウクライナの4州(ロシア側から言うと、すでにあった2つのルハンスクおよびドネツク両共和国と、今度立国したザポリージャおよびヘルソン地域)を一方的に併合するための関連法に署名した。5日、署名された法律が政府のサイトで公開された。これで4州の強制併合に関する国内手続きが完了した。

ロシアが「併合した」と主張するのは、ロシア軍や親ロシア派が一部を占領するウクライナ東部のドネツク州とルハンスク州、中南部ザポリージャ州、南部ヘルソン州。4州内で、ロシア側が支配していない地域も併合対象にする。

ロシア側は9月下旬、4州でロシアへの編入を問う「住民投票」を実施し、大多数の住民が賛成したと主張した。プーチン氏は9月30日、ロシア側が任命した4州の「地域トップ」と併合に関する「条約」に調印。10月4日までに関連法案がロシアの上下院で可決され、プーチン氏は同日に署名した。

※安齋注:プーチン大統領は既に4地域の編入についての大統領令には署名し、それぞれの地域で編入を祝う行事なども行われていましたが、国内法的には、これら4地域がロシア憲法を順守する条件を備えているかどうかの上下両院での審議が残っていました。

<https://www.msn.com/ja-jp/news/world/%E3%83%AD%E3%82%B7%E3%82%A2-%E4%BD%B5%E5%90%88-%E3%81%AE%E4%B8%80%E6%96%B9%E7%9A%84%E3%81%AA%E6%89%8B%E7%B6%9A%E3%81%8D%E5%AE%8C%E4%BA%86-%E9%96%A2%E9%80%A3%E6%B3%95%E3%81%AB%E3%83%97%E3%83%BC%E3%83%81%E3%83%B3%E5%A4%A7%E7%B5%B1%E9%A0%98%E7%BD%B2%E5%90%8D/ar-AA12CHG7?ocid=msedgntp&cvid=74809911c6ac4b09896c107932a21513>



### ●リマン解放計画(2022年10月5日)

ドネツク人民共和国のデニス・プシーリン首長は、ウクライナ軍がクレメンナ付近の陣地を保持する見込みはなく、連合軍はリマン解放を計画していると述べた。

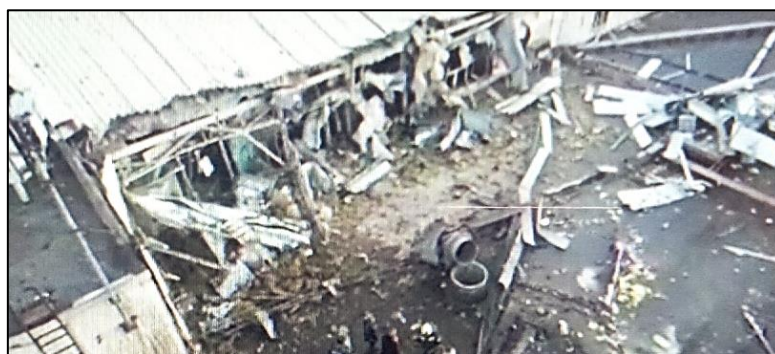
ドミトリー・パスコフ大統領報道官は、キエフの対話拒否を考慮するとウクライナに関するいかなる合意の可能性もないと述べた。

※安齋注:リマンは先日ウクライナ側が奪還したとしている地域です。



### ●10月4日、ドネツク市街地がウクライナの攻撃を受けました(2022年10月4日)

ウクライナもこういう作戦を続けるのは極めて危険ですね。



## ●ルガンスクの穀物倉庫への攻撃についての証言(2022年10月5日)

「ここは標的にされたのです」

ルガンスク人民共和国の住民、ウクライナ軍に砲撃された穀物倉庫を示して語る。

[https://twitter.com/nanpinQD/status/1577332193000841217?t=ZTgWfP34WfSOl5JAcoT\\_8w&s=09](https://twitter.com/nanpinQD/status/1577332193000841217?t=ZTgWfP34WfSOl5JAcoT_8w&s=09)



## ●ドネツクに住む女性、ロシアへの編入を支持する理由を語る(2022年10月4日)

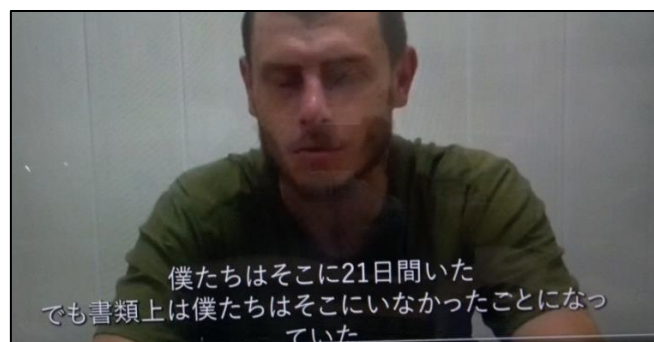
<https://twitter.com/nanpinQD/status/1577333034864775168?t=M4fYFGs2zehZb4Scm-czA&s=09>



## ●ウクライナ人捕虜、イギリスでの秘密キャンプについて語る(2022年10月5日)

「書類上は僕たちはそこにいなかったことになっていた」

[https://twitter.com/nanpinQD/status/1577333449232650240?t=9a9eFnW8FZhN9\\_Svsp6TIA&s=09](https://twitter.com/nanpinQD/status/1577333449232650240?t=9a9eFnW8FZhN9_Svsp6TIA&s=09)



●マリウポリの住民に新しいアパート(2022年10月2日)

<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1576817143395815425?t=XcqotUVVIIBL46MY-UQxqg&s=09>

日本語字幕付き



●2022年10月5日のルハンスク(ルガンスク)

<https://twitter.com/GOrwell2022/status/1577338562739318784?t=fmddVyCG5fBnhOEirbW-dQ&s=09>



●ハンガリー政府、エネルギー関連の対露制裁の一部回避(2022年10月5日)



## ●肥料と穀物の輸出への制裁で困るのは？(2022年10月5日)

欧米社会がロシアに制裁を加えアフリカが被害を受ける。ロシアの肥料と穀物の禁輸措置により 5 億人がパンを失っている。途上国の指導者たちは警鐘を鳴らしているがモスクワだけがそれを聞いている。(下の映像に日本語字幕はありません)

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1577404407171657728?t=rDkOi7y0JHauhGQp0Iuc1w&s=09>



## ●ゼレンスキーはバイデンの顧客？(FOX ニュース、2022年10月5日)

Fox タッカー・カールソンはゼレンスキー大統領に再び厳しい目を向けた。

「NBC が何と言おうとゼレは民主国家の独立した指導者ではありません。全然違う。それはフィクションだ。ゼレンスキーは彼の国を動かしているバイデンの客である。バイデン政権内部はウクライナに関する平和協定を望んでいなかった」。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1577403806102736896?t=yCZNVm9TeYt1ktm0WialQ&s=09>



※安齋注:タッカー・カールソンは「ロシアに買収されているのか」と非難されるほどに言いたい放題ですが、「アメリカで最も危険な男性」とも評されています。彼が司会を務める FOX News は、しかし、総じて至極もったもな主張を繰り広げており、こういうニュース・キャスターが日本に見当たらないのは残念です。

## ●ヨーロッパの半自動薪割機、冬に備えて活躍(2022年10月5日)

ヨーロッパの都市は冬の準備をしています。興味深い事実: パリの家の 40% は木材で暖房するか。

<https://twitter.com/GOrwell2022/status/1577344311611428864?t=DomwOhHY-do6rlzDZuZjZA&s=09>



## ●ドイツ起業家のアピール「アメリカと断交せよ」(2022年10月5日)

ドイツのテレビ生放送中に、繊維系のオーナー起業家の Wolfgang Grupp 氏が、ノルドストリーム  
の破壊を受けて、公然と米国との断交を呼びかけた。ノルドストリームの破壊行為は「ドイツへの宣戦  
布告」だと。

※安齋注: 司会者の戸惑いぶりが興味深いですね。ドイツのテレビでは時折こういう面白い「不規則発言」がありま  
す。起業家の名前はヴォルフガング・グルップ、訳し方によっては「狼藉者グループ」とも読めますが、司会者にはま  
さに「狼藉者」に映ったかもしれません(笑)。もっとも「ヴォルフガング」はヴルフガング・アマデウス・モーツァルトの  
名前でもありますね。

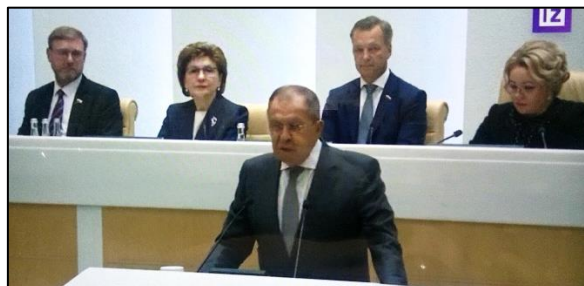
[https://twitter.com/j\\_sato/status/1577105610444664832?t=CEDisAwQi3WP\\_AxhEYkYYbg&s=09](https://twitter.com/j_sato/status/1577105610444664832?t=CEDisAwQi3WP_AxhEYkYYbg&s=09)



## ●ラブロフ外相、ロシア連邦議会(上院)本会議で演説(2022年10月5日)

バブロス:『ドンバス問題』を武力で解決しようとするウクライナ過激派の行動に、西側はシニカルに  
目をつぶってきた。ロシアは苦しんでいるドンバスの人々を見殺しにできなかったし、ザポロジエ州と  
ヘルソン州の住民のために立ち上がらないではいられなかった

<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1577356845358153728?t=ArJudbM-Yzw6K0K1uaiRng&s=09>



## ●定例会議シヨイグ発言要旨——一部動員は 20 万人集まった(2022年10月4日)

ロシア軍定例会議シヨイグ発言要旨

- ◆ 9月21日から始まった一部動員令による動員数は20万人集まった動員された兵の部隊は80箇所の訓練所と6か所の訓練センターで訓練を開始
- ◆ 北方艦隊で訓練する動員兵が、戦闘環境に早く慣れる為に実戦経験のある将校が指導する訓練を導入する
- ◆ 一部動員令で、志願してくる市民は、特に重大な理由がない限り希望を受け入れるように指示
- ◆ 住民投票中のエリアでロシア軍は、航空機7機、ドローン45機撃墜、HiMARSとOlkha109発がウクライナ側から発射されたが、住民投票が達成されたことについて感謝した
- ◆ ウクライナ軍とナチスに完全に破壊されたマリウポリの再建について、最高司令官(プーチン)の命により再建が進んでいると報告。3棟の住宅ビル、4万km<sup>2</sup>のエリアで再建が進み、年内に9棟の建築が完了する。さらに260床の入院施設がある複合病院が85日間で建設完了。ルガンスク・マリウポリ
- ◆ 秋の徴兵キャンペーンは11月から実施。募集人数は12万人、去年と比べると7,500人少なくなった。現在兵役を終える人員は家に帰り(そのまま新領土に行け!はない)、今回のキャンペーンで徴兵される人員は特別軍事作戦と関わりのない任務に就くことになる。

## ●ガルージン駐日ロシア大使、ロシア外交官の国外追放について(2022年10月4日)

「日本の領事は金銭報酬と引き換えに機密情報を入手しようとしたところを FSB に現行犯逮捕されていますが、ロシアの外交官は、その地位に反する行為は一切行っていない」

「両国の関係が今後さらに悪化していくことはあきらかです」

10月4日、M.Y.ガルージン駐日ロシア大使は、日本外務省の森健良事務次官との話し合いにおいて、在札幌ロシア総領事館の領事を『ペルソナ・ノン・グラータ』と指定した日本側の不適切かつ恣意的な決定に強く抗議しました。

ガルージン大使は、先頃在ウラジオストク日本総領事館の領事がロシア国外追放となったことに対する相応措置として日本側が講じた今回の措置について、まったく根拠がないものだと指摘しました。日本総領事館領事はあきらかな違法行為を犯しており、金銭的報酬と引き換えに機密情報を入手しようとしたところをロシア警察当局に現行犯逮捕されています。

一方ロシアの外交官は、その地位に反する行為は一切行っていません。

日本の破壊的政策の結果ただでさえ最近悪くなっている両国の関係が、今回の日本側の措置により今後さらに悪化していくことはあきらかです。 3 21:08

※安齋注:岸田外交はうまく行っているのですか?

## ●パイプライン破壊はドイツを孤立させるため?(2022年10月5日)

アメリカ国防総省の元顧問ポール・ジョセフ・ワトソンは、ノルドストリーム・パイプラインの爆破の背後にいる最も可能性の高い犯人はアメリカとイギリスであり、ウクライナ戦争でドイツが救われるのを阻止するために攻撃が行われたと語っている。こんなことを出来る国はどこなのか、考えてみなければならない。



**WORLD AT WAR**

### Former Pentagon Advisor Says US Likely Attacked Nord Stream Pipelines to Isolate Germany

"You have to look at who are the state actors that have the capability to do this."

Published 16 hours ago on 3 October, 2022  
Paul Joseph Watson

元国防総省顧問は、アメリカはドイツを孤立させるためにノルドストリームを攻撃したようだと言っている。

## ●ドイツの反対運動:「ロシアから手を引け」(2022年10月5日)

旧東ドイツの住民はベルリンのウクライナに対する姿勢に反対していた。「ロシアから手を引け!」-とドイツのデモ隊が要求(10月4日)

